



2021年3月期 第1四半期決算説明会

2020年9月2日（水）

株式会社スカパーJSATホールディングス

証券コード：9412

本説明資料に掲載されている予想、戦略、経営方針、目標等のうち、歴史的事実でないものは、将来の見通しに関する記述であり、現在入手可能な情報にもとづく経営者の前提、計画、期待、判断などを基礎としています。これらの将来の見通しに関する記述は、様々なリスクや不確定要因の影響を受けるため、現実の結果が想定から著しく異なる可能性があります。このようなリスクや不確定要因のうち、現在想定しうる主要なものには、以下のようなものが含まれます。なお、リスクや不確定要因はこれらに限られるものではありませんのでご留意下さい。

《全般に関するリスク》

- ・ 事業投資等に関するリスク
- ・ 事業上の法的規制に関するリスク
- ・ 個人情報及び重要情報の流出や取扱い及びサイバーセキュリティに関するリスク
- ・ 大規模災害等による事業継続に関するリスク

《メディア事業に関するリスク》

- ・ 有料多チャンネル事業の事業性低下に関するリスク
- ・ 不正視聴に関するリスク
- ・ 顧客管理システムに関するリスク

《宇宙事業に関するリスク》

- ・ 衛星通信市場における競争力低下のリスク
- ・ 通信衛星調達に関するリスク
- ・ 通信衛星の運用に関するリスク

2021年3月期

第1四半期連結決算概要

連結損益概要

- ・ 営業収益、各利益とも通期予想に対して概ね計画どおりに進捗
- ・ メディア事業の視聴料収入等が減少する一方で、宇宙事業のJCSAT-17及びHorizons 3eの収益拡大に加え、メディア事業の営業費用の減少により、増収増益

(百万円)

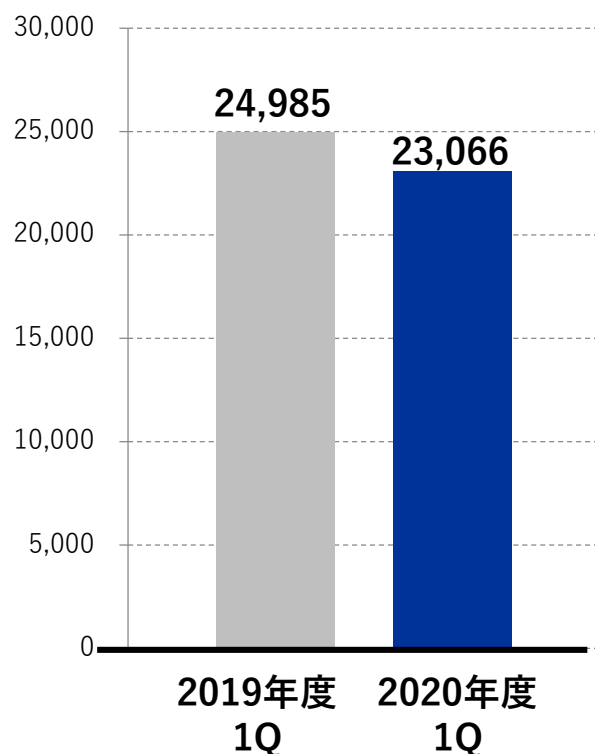
	2019年度1Q	2020年度1Q	増減率	進捗率	2021年3月期 通期予想
営業収益	34,519	34,674	0.5%	24.8%	140,000
営業利益	3,694	5,594	51.4%	46.6%	12,000
経常利益	3,807	5,977	57.0%	47.8%	12,500
親会社株主に帰属する 四半期純利益	2,464	4,022	63.2%	50.3%	8,000
EBITDA *	10,821	12,368	14.3%	32.5%	38,000

* EBITDA = 純利益 + 税金費用 + 減価償却費 + のれん償却費 + 支払利息

- セグメント利益（四半期純利益）は16億円（前年同期比+11.3億円）
- シーズンスポーツの開催延期等によりコンテンツ費用が10億円減少したことや、減価償却費の減少8億円等により営業利益及びセグメント利益は増加

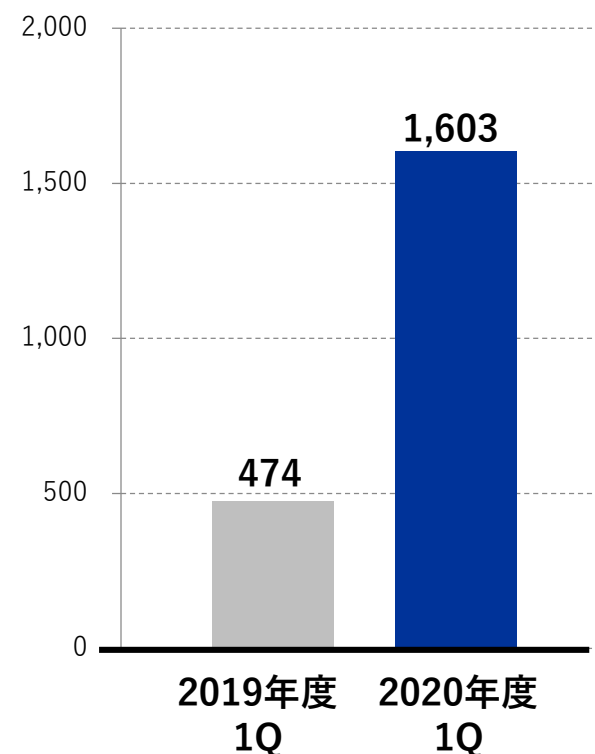
営業収益

（百万円）



セグメント利益

（百万円）



セグメント利益増減要因

■営業収益（△19.2億円）＊

- ・視聴料収入の減少：△12億円
- ・業務手数料収入の減少：△2億円

■営業費用（△34.4億円）＊

- ・番組供給料の減少：△6億円
- ・コンテンツ費用の減少：△10億円
- ・減価償却費の減少：△8億円

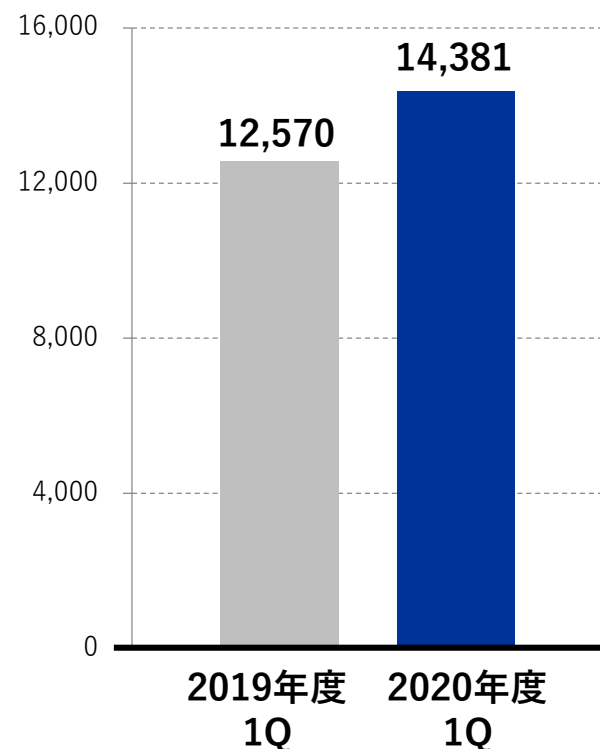
＊ セグメント間内部取引を含む

■セグメント利益（四半期純利益）は25億円（前年同期比+3.8億円）

■新型コロナウイルスの影響により、航空機内インターネット接続用衛星回線の収益が3億円減少する一方で、JCSAT-17及びHorizons 3eの収益が19億円増加したこと等により営業収益は増加

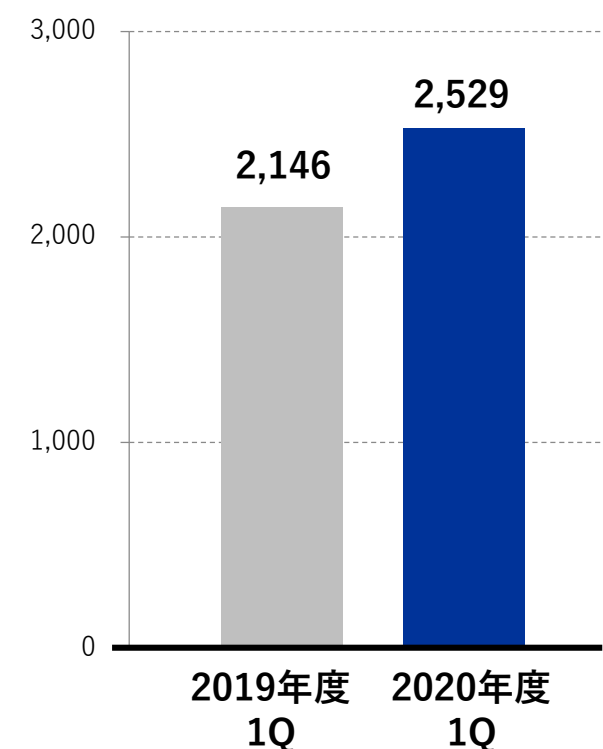
営業収益

（百万円）



セグメント利益

（百万円）



セグメント利益増減要因

■営業収益（+18.1億円）*

- ・ JCSAT-17及びHorizons 3eの収益の増加：+19億円
- ・ 航空機内インターネット接続用衛星回線収益の減少：△3億円

■営業費用（+14.7億円）*

- ・ 減価償却費の増加：+4億円
- ・ 衛星事業原価等の増加：+11億円

* セグメント間内部取引を含む

■メディア事業

- 第1四半期においては、計画に対して累計加入件数や契約者支払単価等が堅調に推移
- プロ野球は、6月の開幕以降、プロ野球セット中心に加入が戻ってきているものの、前年ピーク時には到達せず
- 第2四半期以降はスポーツの開始や再開等により、営業費用の増加が見込まれる

■宇宙事業

- 新型コロナウイルス感染拡大により、航空機内インターネット接続用衛星回線市場は通期にわたって引き続き厳しい状況を想定
- 第2四半期以降、当初から計画していた新規事業等の取り組みは抑制せず実施するため、営業費用の増加が見込まれる

■恒常的なテレワーク体制を導入し、時間や場所にとらわれない多様な働き方と生産性向上を目指す

➤ 環境整備

- テレワーク環境の整備（ネットワーク環境の利便性向上、テレワーク端末の導入検討）
- 自社拠点※のサテライトオフィス化、社外のサテライトオフィス利用拡充
- フレックス制度のコアタイム撤廃（原則平日5時から22時の間の任意の時間に勤務可）
- テレワーク勤務の定着により、7月の出勤率は20%未満（赤坂本社勤務者）

➤ テレワーク体制に合わせた手当等の見直し

- 通勤手当支給ルールの変更（定額支給から出勤日数に応じた支給に変更）
- 臨時手当の支給（5月）に加え、テレワーク勤務や感染予防対策に必要な費用の一部を補助する
手当の支給開始（7月～）

※赤坂本社、横浜衛星管制センター、スカパー東京メディアセンター

■事業における取り組み

➤ カスタマーセンター在宅トライアル

6月～：トライアルを実施

10月～：正式導入（予定）

段階的に拡大し、今後は全国のカスタマーセンターに展開予定

➤ スカパー！オンデマンド エンタメ応援キャンペーン

ーコロナ禍、ステージ主催者へ期間限定の特別配信プランを提供

■ファン・マーケティング施策

- 『ソロフェス』 (ハロプロメンバー総勢52名が冠番組をかけて1曲ずつソロ歌唱する5時間コンサート企画)



- ✓ 7月放送の「ソロフェス」を皮切りに、「舞台裏特番」やソロフェスでの「MVP冠番組」までの3カ月間の連続企画
- ✓ ハロプロメンバーおよび事務所からの告知を含めて適切なプロモーションがファンに届き、好調な加入件数を獲得。
- ✓ Twitterではトレンドランキングで1位をマーク。

自社媒体の掲載例



- 『F1グランプリ 【4K】』 期間限定キャンペーン ※4K放送受信機器が必要
 - ✓ F1を放送中のフジテレビNEXTご契約のお客様を対象に追加料金なしで4Kもご視聴いただけるキャンペーンを9月より実施。

■KIBO宇宙放送局 開局特番

国際宇宙ステーションに開設されたKIBO宇宙スタジオから、世界初の宇宙との双方向ライブ配信番組を8月12日に放送。BSスカパー！をはじめスカパーオンデマンド、YouTubeやTwitterなどで無料生放送＆生配信。

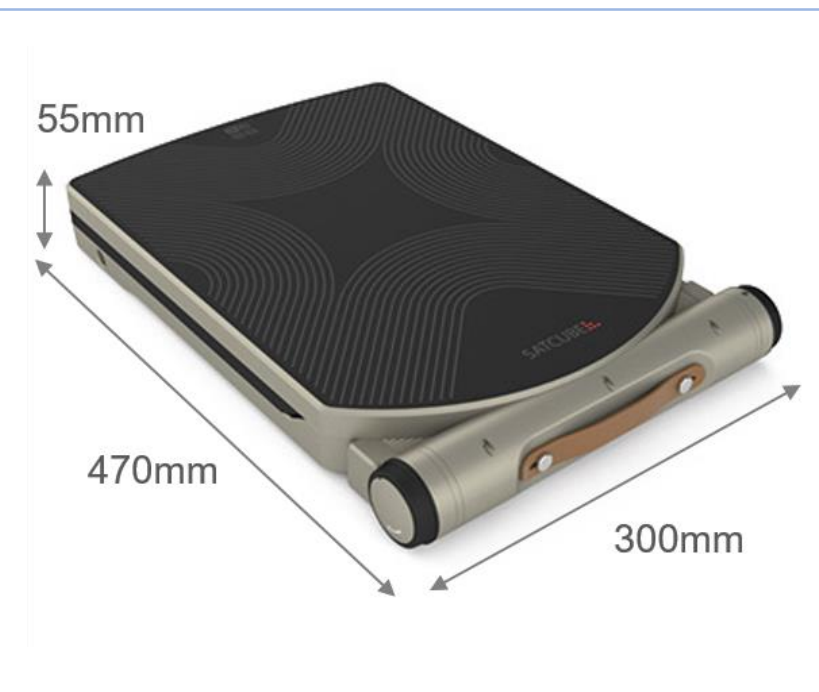


サットと使える! IP映像伝送サービス

■Sat-Qサービスの提供開始



- ・ 6月、超小型平面アンテナSatcubeを用いたIP映像伝送サービス『Sat-Q』の提供を開始。
- ・ 最大6Mbpsの映像伝送用の衛星インターネット回線を提供。報道機関を中心としたご利用を想定。
- ・ 報道中継現場で利用されるモバイル中継システムとも連動可能で、現場の地上携帯網輻輳時にも安定した伝送路を提供。また、独自の衛星捕捉機能により設置から最短1分以内での通信が可能。



端末サイズイメージ

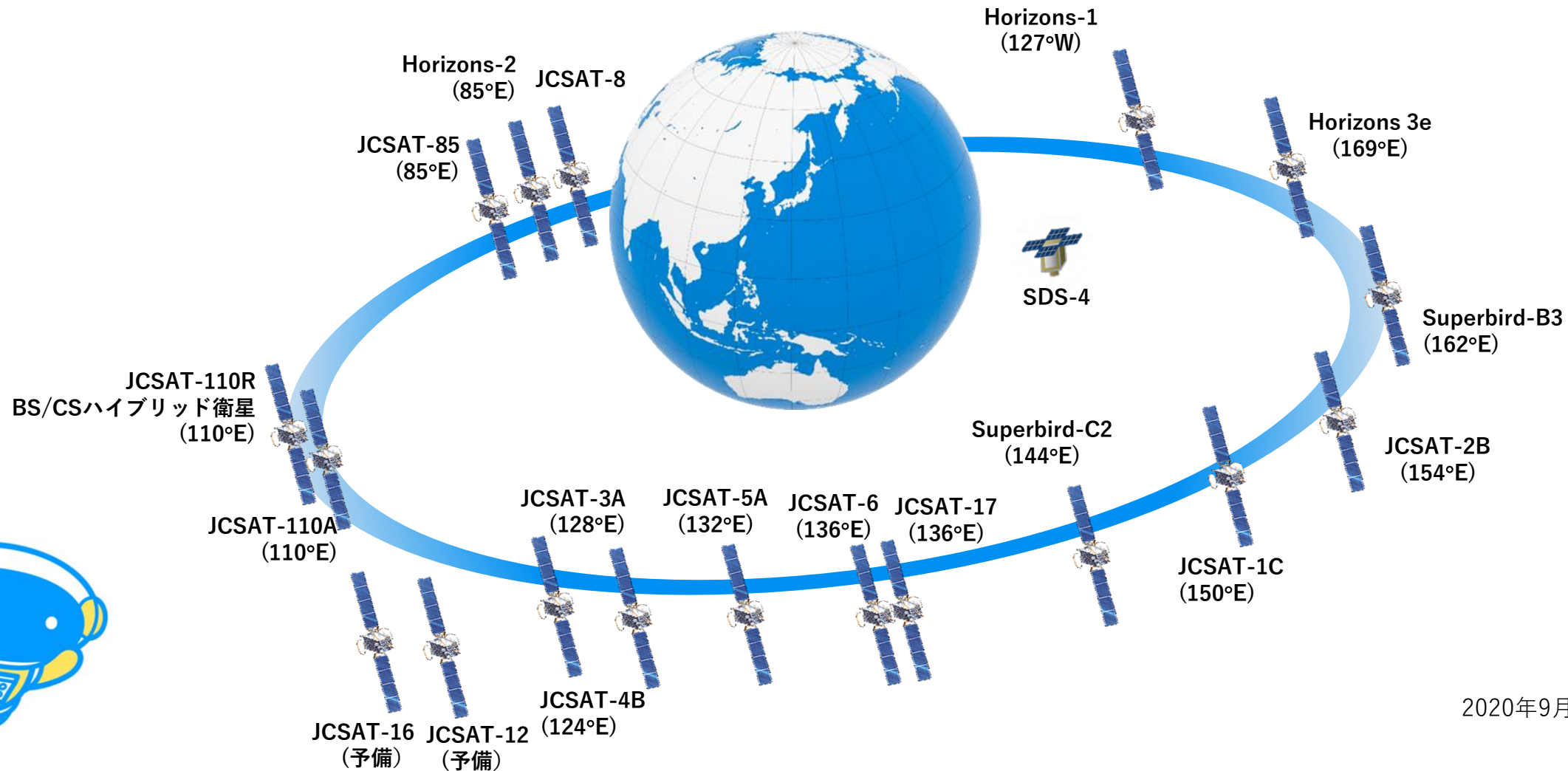


テレビ西日本 デモの様子



利用イメージ

北米上空からインド洋上空まで 計19機 の衛星を保有



2020年9月

参 考 資 料

	2019年度 1Q	2020年度 1Q	2020年度 加入目標
新規* (ICカード数 万件)	17.6	16.7	64.3
純増数 (ICカード数 万件)	2.8	△1.8	△8.2
(スカパー !)	(4.8)	(0.5)	(1.5)
(スカパー !プレミアムサービス)	(△1.9)	(△2.2)	(△9.2)
(スカパー !プレミアムサービス光)	(△0.1)	(△0.1)	(△0.6)
累計加入件数 (ICカード数 万件)	327.5	315.2	308.8
累計契約者数 (契約者数 万件)	277.2	259.3	249.2
契約者月額支払単価 (円)			
スカパー !	3,256	3,262	—
スカパー !プレミアムサービス	3,674	3,590	
スカパー !プレミアムサービス光	5,254	5,194	

*2019年10月末より、従来「新規」「再加入」として別々に集計していた加入件数を合算し、「新規」として集計しております
2019年度の「新規」は変更後の「新規」で記載しております

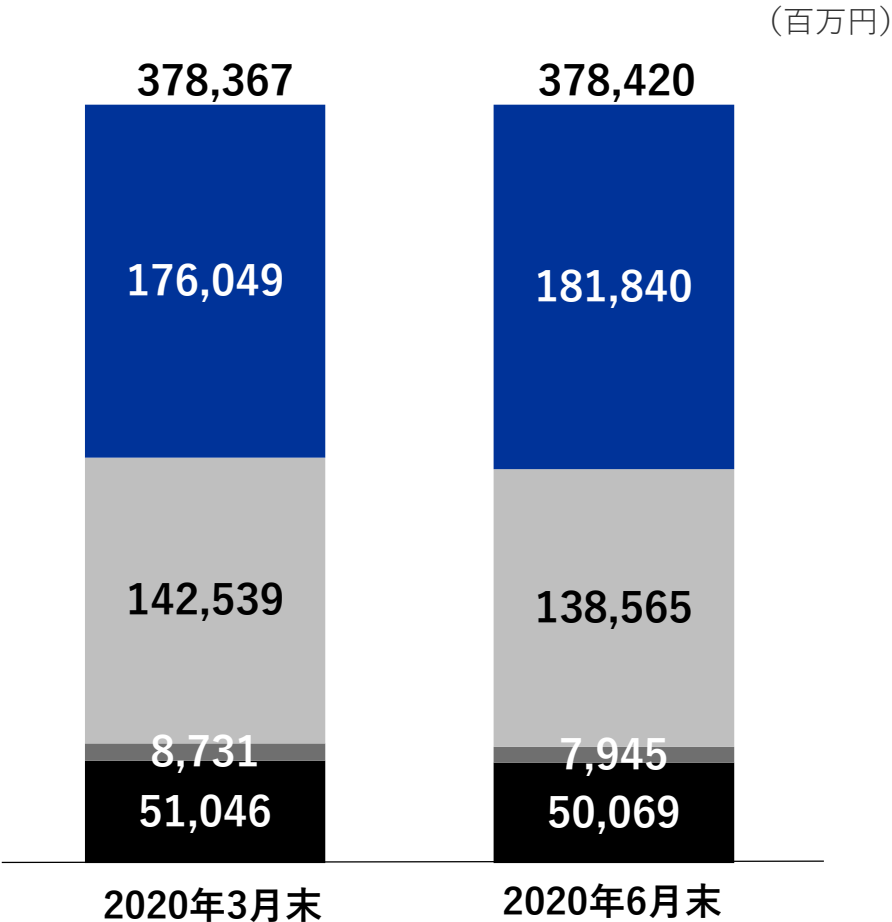
セグメント別 連結業績の推移(2019年度1Q ~ 2020年度1Q)

(百万円)

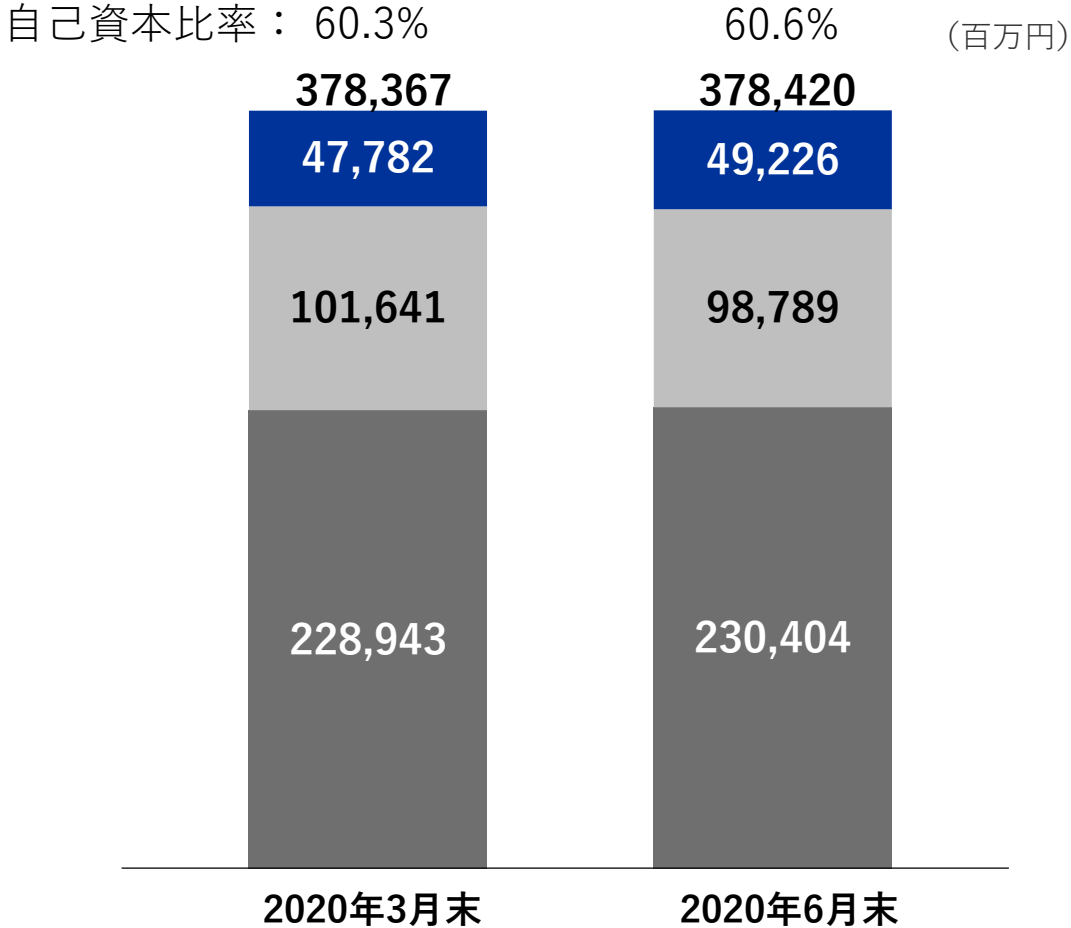
	2019年度					2020年度
	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q
営業収益	34,519	34,752	34,552	35,717	139,541	34,674
メディア事業	24,985	24,822	24,213	23,623	97,645	23,066
宇宙事業	12,570	12,893	13,180	14,889	53,533	14,381
消去又は全社	△3,037	△2,963	△2,842	△2,794	△11,637	△2,773
営業利益	3,694	4,636	3,971	2,960	15,263	5,594
メディア事業	654	1,932	1,284	△795	3,076	2,174
宇宙事業	3,225	2,875	2,855	3,945	12,901	3,568
消去又は全社	△185	△171	△168	△189	△714	△148
セグメント利益 (親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益)	2,464	3,479	2,582	3,500	12,027	4,022
メディア事業	474	1,416	909	1,746	4,546	1,603
宇宙事業	2,146	2,197	1,800	1,884	8,029	2,529
消去又は全社	△156	△134	△128	△130	△549	△111

連結貸借対照表

資産



負債・純資産



流動資産 有形固定資産 無形固定資産 投資その他資産

流動負債 固定負債 純資産

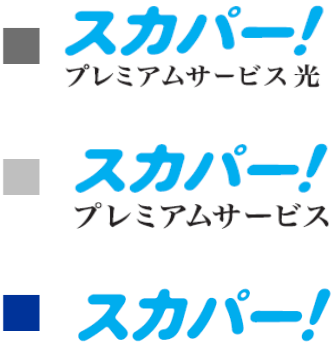
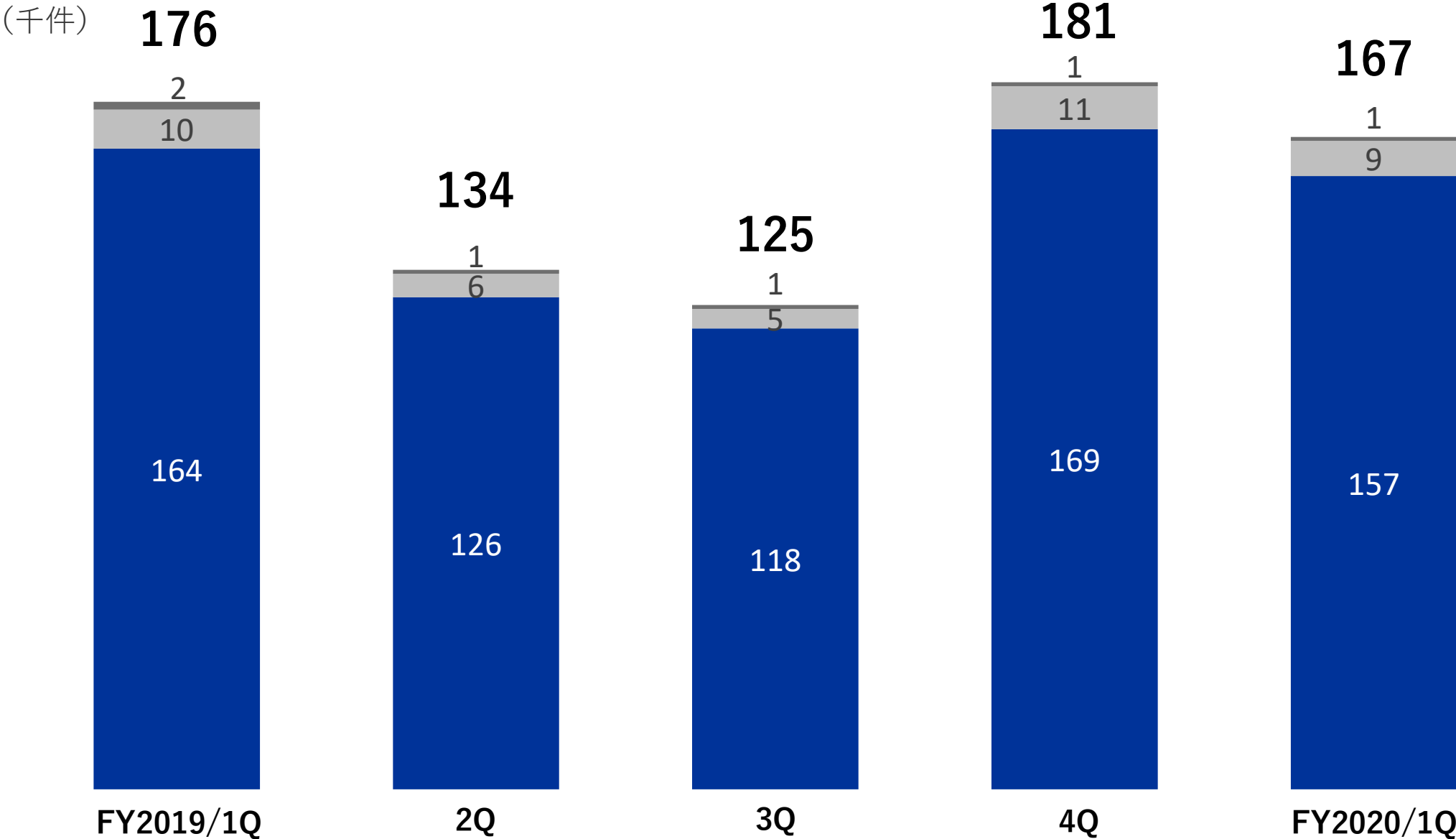
(百万円)

	2019年度 1Q	2020年度 1Q
営業活動によるキャッシュ・フロー	13,524	20,611
投資活動によるキャッシュ・フロー	△6,868	△2,349
フリー・キャッシュフロー (*1)	6,656	18,262
財務活動によるキャッシュ・フロー	△5,197	△10,380
現金及び現金同等物の四半期末残高(a)	49,545	51,474
有利子負債期末残高 (*2) (b)	105,070	94,560
純有利子負債期末残高 (b)－(a)	55,524	43,086

*1. 営業活動によるキャッシュ・フロー＋投資活動によるキャッシュ・フロー

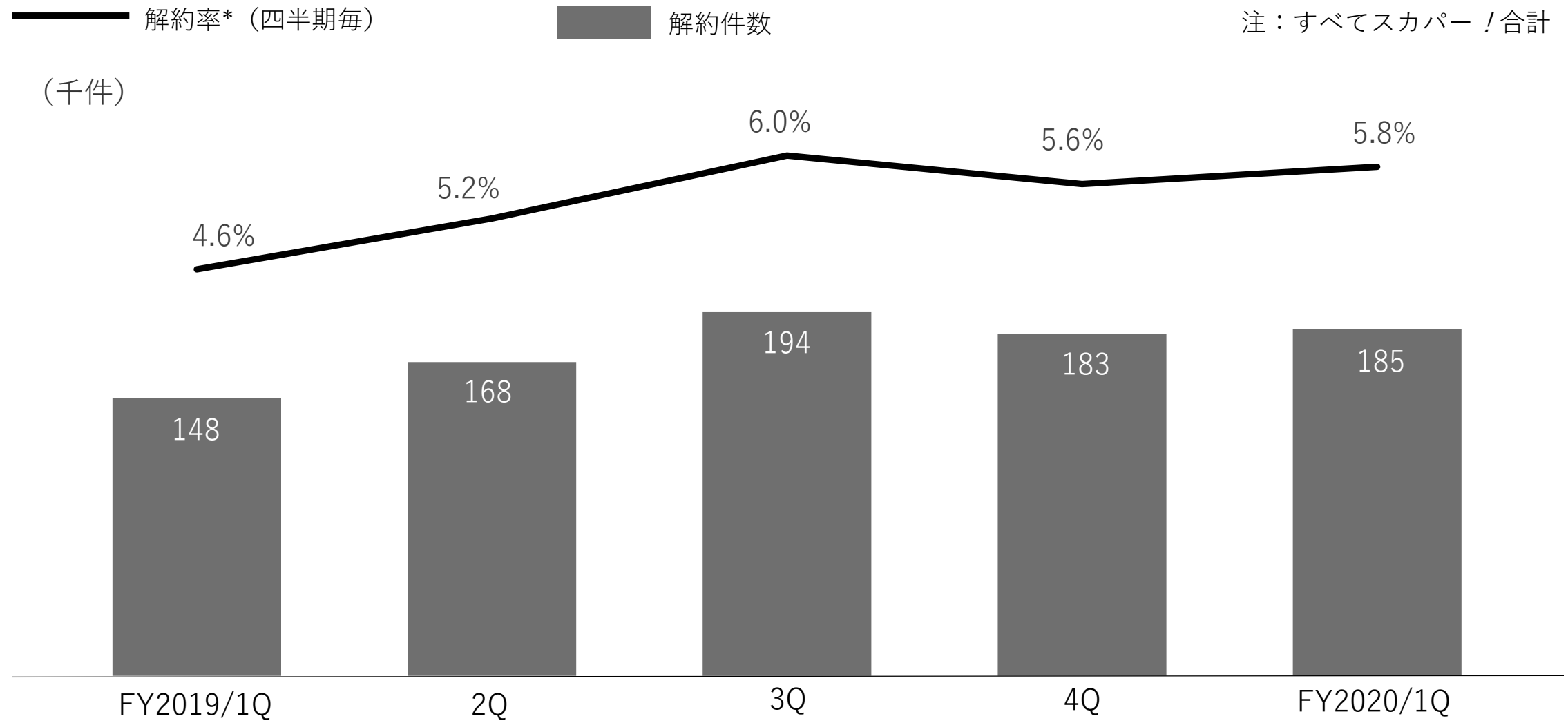
*2. 借入金＋無担保社債

新規加入件数の推移（ICカード）



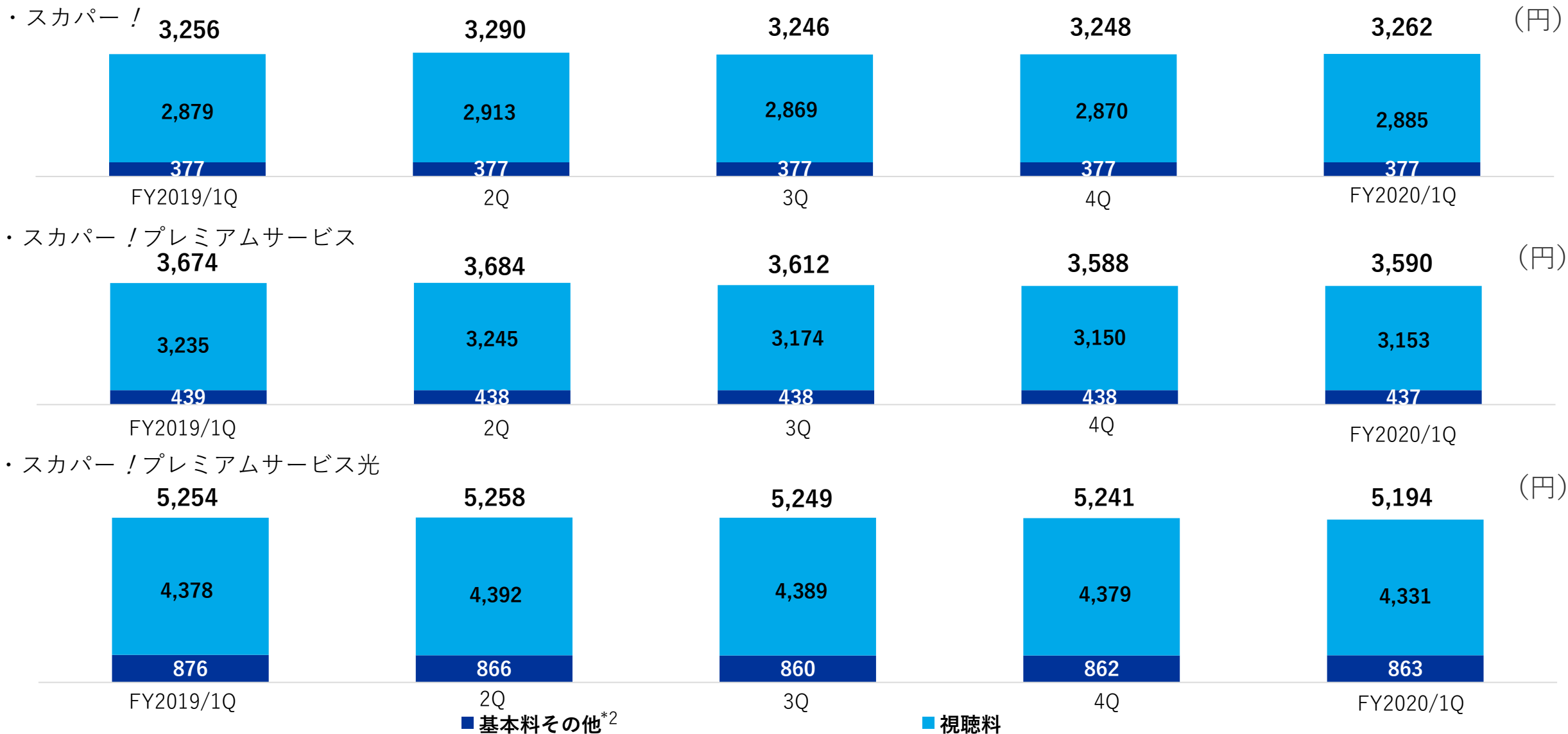
* 2019年10月末より「新規」「再加入」として別々に集計していた加入件数を合算し、「新規」として集計しております
2019年度の「新規」は再集計しております

解約率の推移（ICカード）



* 各四半期の解約件数合計を前年度末の累計加入件数で除した率を表示しております。

契約者支払単価*1



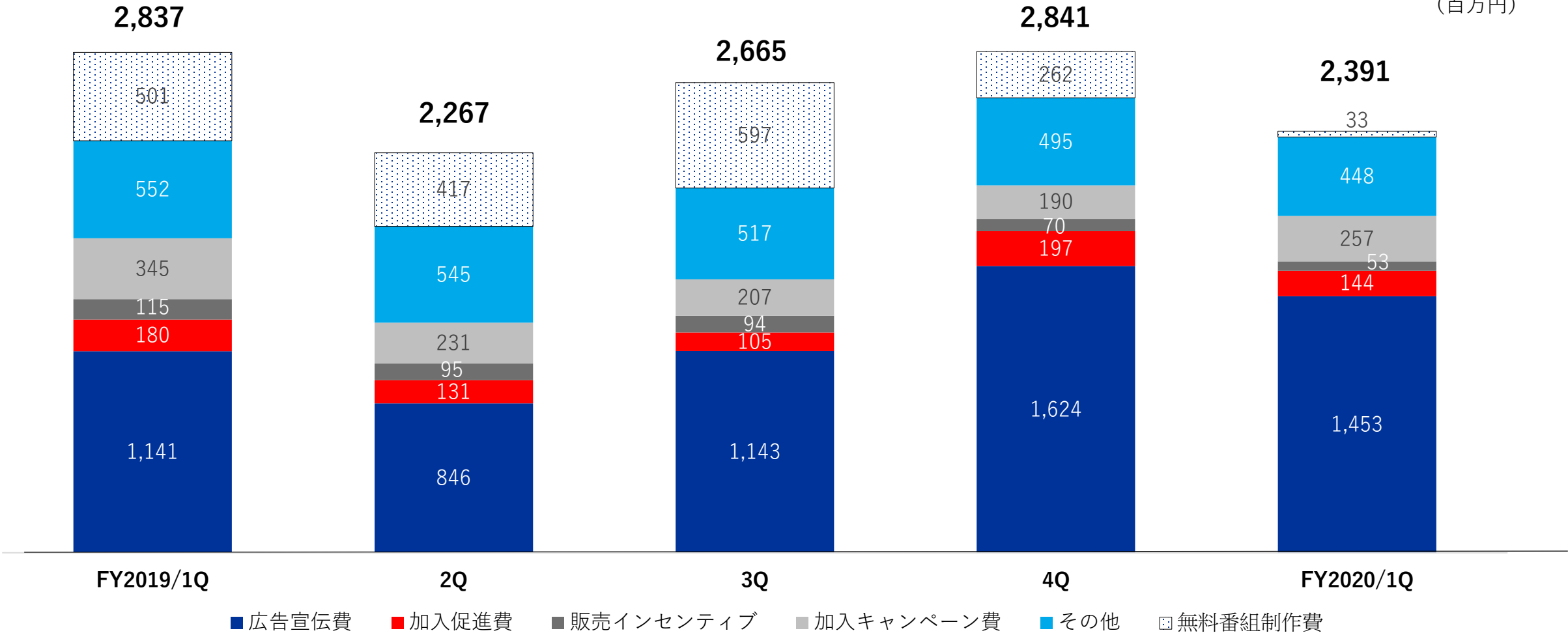
*1. 契約者が支払う月額視聴料等の平均単価。従来「加入者」（ICカード数）単位で開示していた月額単価を、「契約者」単位に変更しております（2019年度第1四半期開示資料より）。

契約者が支払う視聴料のうち、スカパー！では約30%を業務手数料として、スカパー！プレミアムサービスでは約100%を視聴料収入として営業収益認識しております。

*2. 基本料その他 基本料及びセットトップボックスレンタル料

顧客獲得費用総額 (SAC)

(百万円)



広告宣伝費：各種媒体での広告宣伝費用
 加入促進費：スカパー！加入促進のための費用(パンフレットや会場販促)
 販売インセンティブ：家電量販店や携帯キャリアへのインセンティブおよび取次手数料
 加入キャンペーン費：新規加入キャンペーン費用(アンテナサポート等)
 その他：加入獲得にかかるカスタマーセンター運営費用等
 無料番組制作費：BSスカパー！等の番組制作費用

Space for your Smile

不安が「安心」にかわる社会へ
不便が「快適」にかわる生活へ
好きが「大好き」にかわる人生へ

株式会社スカパーJSATホールディングス
広報・IR部

